

2019年度

静岡大学人文社会科学部

言語文化学科・学生発表会

言語文化学科の学生が、日頃の研究成果を発表する会を開催します。

発表者及び聴衆の学生の皆さんがそれぞれの関心を明確にし、研究を深めていくきっかけにしていきたいと思います。特に当学科1年生の皆さんにとっては、履修プログラム決定に向けて情報を得る貴重な機会となりますので、是非ご参加ください。

学科学部学年を問わずどなたでもご来場ください。

日時： 12月5日(木) 14:00~17:00

場所： 静岡大学静岡キャンパス人文B棟 401講義室

- 1 「グリム童話」のヒロイン―ペローとの比較―
14:05 (ドイツ言語文化)
- 2 マルセル・マルソーとパントマイム―ビップに託した希望―
14:25 (フランス言語文化)
- 3 「日本陶磁器の輸出が与えた影響」
14:45 (比較文学文化)
- 4 「日本語の文末に見られる接続助詞「けど」について」
15:05 (言語学)
- 休憩 (15:25-15:40) ——
- 5 SNS社会と「若者」のアイデンティティ―朝井リョウ「何者」論
15:40 (日本言語文化)
- 6 山梨岡神社の夔について
16:00 (中国言語文化)
- 7 Ray Bradbury's Zen-like Approach to America's societal and Spiritual Problems:
An Examination of Three Short Stories
16:20 (英米言語文化)

講評と閉会の挨拶 (学科長)

